

インフォメーション・コーナー

会 告

| | |
|--|----|
| ○平成 26 年度会員名簿の掲載事項について 締切 9 月 30 日 | 64 |
| ○平成 27 年度農業農村工学会賞候補の推薦について (再) 締切 10 月 31 日 | 65 |
| ○平成 26 年度「戦略的研究申請支援」の助成金募集について (再) 申請締切 9 月 12 日 | 65 |
| ○「農業農村工学会学術基金」への募金のお願い | 66 |
| ○学会誌掲載報文等による CPD 通信教育の参加者募集!! | 66 |
| ○平成 27 年の学会誌表紙写真の募集 夏季締切 9 月 30 日 | 67 |
| ○「水土の知 (農業農村工学会誌)」への投稿お待ちしております! | 68 |
| ○国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」購読のお願い | 69 |
| ○国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 2012 年 1 月から 2014 年 12 月までの編集事務局 (投稿先) のお知らせ | 69 |
| ○第 63 回北海道支部研究発表会の開催について ㊦ 発表申込締切 8 月 29 日 | 70 |
| ○平成 26 年度東北支部総会・第 57 回東北支部研究発表会ならびに第 47 回東北支部研修会・ 第 37 回地方講習会の開催について (第 3 報) ㊦ 発表原稿締切 9 月 5 日 | 70 |
| ○第 69 回中国四国支部講演会ならびに第 38 回地方講習会の開催について (第 2 報) ㊦ 発表原稿締切 9 月 12 日 | 72 |
| ○平成 26 年度九州沖縄支部大会 (第 95 回講演会・シンポジウム・現地見学会) の開催について (第 2 報) ㊦ 投稿締切 8 月 31 日 | 73 |
| ○第 17 回 (2015 年)「日本水大賞」の募集について 応募締切 10 月 31 日 | 75 |
| 農業農村工学会論文集第 292 号内容紹介 | 76 |
| 学会記事 | 78 |

第 82 巻第 9 号予定

展望：星野 敏

小特集：これからの“むらづくり”と“まちづくり”ーグローバル時代におけるローカル・コミュニティの創造ー

- ① 農業用水の多面的機能保全による農村文化の向上と地域振興：中村好男ほか
- ② “うた”が紡ぐシマづくり：広瀬 伸ほか
- ③ ボーダレス化する農村体験需要は都市農村交流を活気づけるか？：山下良平
- ④ 角がない鬼が紡ぎ出す地域の未来 鬼沢集落：藤崎浩幸ほか
- ⑤ むらづくりのための土地利用調整に関する新たな制度的枠組みの検討：莊林幹太郎ほか
- ⑥ NN 事業と学校教育が連携した環境保全と次世代育成：木下貴裕ほか

技術リポート

北海道支部：暗渠排水の機能低下要因とその保全管理：西野敏朗ほか
 東北支部：小田島地区における浅理工法の検討事例：原田優美子
 関東支部：水路トンネル工事における補助工法について：中山 護ほか
 京都支部：大迫ダム細粒土砂の植栽表土転用に関する検討：村尾弘道
 中国四国支部：農業水利施設を利用した小水力発電：山中政二
 九州沖縄支部：センタータワー方式によるアルミドーム屋根の組立架設：大貫晴夫ほか

小講座：滞在型市民農園：牧山正男

私のビジョン：中山間地域における農業農村整備のあり方を考える：武山絵美

農業農村工学会行事の計画

農業農村工学会行事について、下表のように計画しています。ふるって参加下さるよう、お待ちしております。

Ⓟのマークは、技術者継続教育機構の認定プログラムとして認定されたもの、および認定申請中のものを表しています。

| 開催日 | 主催 | 行事名 | テーマ | 開催場所 | 掲載号 |
|-----------------|-------------|--|--------------------------------|-------|---------------------------|
| 平成26年8月12~14日 | 農業用水展示実行委員会 | 第38回「水の週間」水のワークショップ・展示会 | いのち育む水の恵み | 東京都 | 82巻6, 7号 |
| 平成26年8月26~29日 | 大会運営委員会 | 平成26年度農業農村工学会大会講演会 Ⓟ | — | 新潟市 | 81巻12号, 82巻1, 2, 3, 4, 7号 |
| 平成26年9月19日 | 農村計画研究部会 | 第36回現地研修集会 Ⓟ | 中越から地域の再建を学ぶ—新潟県中越地震10年の検証と教訓— | 長岡市 | 82巻7号 |
| 平成26年10月23日 | 関東支部 | 第65回支部大会講演会, 講習会 Ⓟ | — | 前橋市 | 82巻6, 7号 |
| 平成26年10月24日 | 土壌物理研究部会 | 平成26年度研究会 Ⓟ | 現場技術のなかの土壌物理(仮) | 仙台市 | 82巻7号 |
| 平成26年10月29日 | 北海道支部 | 第63回研究発表会 Ⓟ | — | 札幌市 | 82巻8号 |
| 平成26年10月29, 30日 | 九州沖縄支部 | 第95回講演会・シンポジウム・現地見学会 Ⓟ | — | 佐賀市 | 82巻6, 8号 |
| 平成26年10月30, 31日 | 東北支部 | 平成26年度総会・第57回研究発表会・第47回研修会・第37回地方講習会 Ⓟ | — | 仙台市 | 82巻6, 7, 8号 |
| 平成26年11月5, 6日 | 中国四国支部 | 第69回支部講演会・第38回地方講習会 Ⓟ | — | 鳥取市 | 82巻7, 8号 |
| 平成26年11月6, 7日 | 農村道路研究部会 | 第24回研究集会・現地研修会 Ⓟ | 農道の長寿命化について | 津市 | 82巻7号 |
| 平成26年11月13日 | 京都支部 | 第71回研究発表会 Ⓟ | — | 岐阜市 | 82巻4, 6号 |
| 平成26年11月26, 27日 | 農地保全研究部会 | 第35回研究集会・現地研修会 Ⓟ | 都市と農地保全(仮) | 藤沢市ほか | 82巻7号 |

平成26年度会員名簿の掲載事項について

平成26年度版の当学会会員名簿の発行に係る掲載事項については、個人情報の保護に関する法律の規定に基づき、従来どおり当学会の「会員名簿の発行に伴う個人情報の扱い」により対処しますので、掲載事項としている下記の事項について、掲載に同意されないものがあれば、会員番号と氏名を明記のうえ、郵送、E-mail またはFAXで、9月30日(火)までにご連絡下さい。(非掲載項目につきましては、前年度までにご連絡を頂いていて、変更のない場合は再度ご連絡を頂かなくても結構です。)

なお、ご連絡がない場合は、下記事項の掲載に同意されたこととさせていただきます。

記

会員名簿掲載事項

- ①【氏名】 ②【会員番号】 ③【出身校】 ④【卒年】
⑤【資格】 ⑥【勤務先および役職】 ⑦【自宅住所】
⑧【自宅電話番号】

連絡先

郵送の場合：〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4

公益社団法人 農業農村工学会 櫻木あて

E-mailの場合：sakuragi@jsidre.or.jp

FAXの場合：03-3435-8494

(参考)

会員名簿発行に伴う個人情報の扱い

以下の項目を遵守することによって、個人情報取扱義務を全うする。

- 利用目的の特定、利用目的による制限
農業農村工学会会員名簿の作成業務及び会員管理にのみ利用し、この範囲を超えて利用しない。
- データ内容の正確性の確保
個人情報の正確性、最新性を確保する。
- 安全管理措置、従業者、委託先の監督
安全管理のために、学会職員、印刷業者等に対して必要かつ適正な監督を行う。
- 第三者提供の制限
名簿は、公益社団法人農業農村工学会定款第6条に定める会員及び同会員が所属する機関に限り原価にて頒布する。

平成 27 年度農業農村工学会賞候補の推薦について（再）

平成 27 年度の農業農村工学会賞（上野賞，沢田賞を除く） 締切は，平成 26 年 10 月末日です。推薦書様式および授賞規程を，募集要項に則って，推薦書によりご推薦下さい。 締切は，平成 26 年 10 月末日です。推薦書様式および授賞規程は学会ホームページをご参照下さい。

平成 27 年度 農業農村工学会賞 募集要項

| 賞の種別 | 学術賞 | 奨励賞 | | 優秀賞 | | | |
|-------------|--|--|--|--|--|---|--|
| | | 研究奨励賞 | 技術奨励賞 | 優秀論文賞 | 優秀報文賞 | 優秀技術賞 | 優秀技術リポート賞 |
| 賞の趣旨 | 農業農村工学に関する学術または技術の進歩に貢献した創意ある優秀な業績 | 農業農村工学に関する学術または技術の進歩に寄与すると認められる優秀な業績 | | 農業農村工学に関する学術または技術についての優秀な業績 | | | |
| 賞の対象範囲および期間 | 平成 21 年 10 月から平成 26 年 9 月までに、本学会の刊行物に発表された論文、報文等とする。ただし、同一の課題につきそれ以前に発表されたものは、一連の業績として対象とすることができる。 | 平成 23 年 10 月から平成 26 年 9 月までに、本学会の刊行物に発表された論文、報文等とする。ただし、同一の課題につきそれ以前に発表されたものは、一連の業績として対象とすることができる。 | 平成 23 年 10 月から平成 26 年 9 月までに、本学会の刊行物に発表された論文、報文等とする。ただし、同一の課題につきそれ以前に発表されたものは、一連の業績として対象とすることができる。 | 平成 25 年 10 月から平成 26 年 9 月までに、本学会の刊行物に発表された論文とする。 | 平成 25 年 10 月から平成 26 年 9 月までに、本学会の刊行物に発表された報文とする。 | 平成 24 年 10 月から平成 26 年 9 月までに、本学会の刊行物に発表された論文、報文等とする。主として現場調査資料、現場技術報告書から選ぶ。 | 平成 21 年 10 月から平成 26 年 9 月までに、本学会の刊行物に発表された技術リポートとする。 |
| 受賞候補者 | 個人 | | | 個人または組織、団体 | | | 個人 |
| 推薦の方法 | 正会員及び名誉会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を 1 部提出する（いずれも返却しない）。 | | | 正会員及び名誉会員の自薦、他薦または学会誌・論文集の企画・編集委員会の推薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を 1 部提出する（いずれも返却しない）。 | | | |

| 賞の種別 | 著作賞 | 教育賞 | 環境賞 | 歴史・文化賞 | 地域貢献賞 | 国際貢献賞 | メディア賞 | 功労賞 |
|-------------|--|--|---|---|--|--|--|--|
| 賞の趣旨 | 原則として一般に市販されている図書の中で、農業農村工学に関する学術または技術を広げに紹介することに顕著な貢献をなしたと認められる業績 | 農業農村工学教育、技術者の継続教育など資質の向上に寄与したと認められる活動で優れた業績 | 農業・農村の生産・生活環境の改善や生態系保全など、美しい環境の保全や創出において優れた計画および施工を行い、もしくは管理・保全活動を行った業績 | 農業農村工学に関する歴史・文化を広く紹介、あるいは研究分析した業績 | 農村地域社会の発展・活性化に貢献した業績 | 農業農村工学に関する学術・技術についての、国際的な交流・調査研究で優れた業績 | 農業農村工学を紹介したパンフレット、ビデオ作品、教材スライド、映画等 | 長年にわたる、地道な教育・研究または実務の積み重ねを通じて、農業農村工学の学術または技術の進歩発展に多大な功労のあったと認められる者 |
| 賞の対象範囲および期間 | 平成 16 年 10 月から平成 26 年 9 月までに出版されている一般の図書。ただし、ハンドブック・便覧の類の著書および翻訳書は対象としない。また、改訂版にあたっては全面改訂したもののみを対象とする。 | 平成 16 年 10 月から平成 26 年 9 月までの業績を対象とする。 | 平成 24 年 10 月から平成 26 年 9 月までに本学会の刊行物または、関係する図書に発表されたもの。また、完工した建設物、維持保全管理活動等も対象とする。 | 平成 21 年 10 月から平成 26 年 9 月までの業績を対象とする。 | 平成 21 年 10 月から平成 26 年 9 月までの活動を対象とする。 | 平成 21 年 10 月から平成 26 年 9 月までの活動を対象とする。 | 平成 24 年 10 月から平成 26 年 9 月までに発表された、農業農村工学に関連した作品を対象とする。 | 平成 26 年度末に 65 歳以上に達している個人 |
| 受賞候補者 | 著者 | 個人または組織・団体 | | | 個人 | 個人または組織・団体 | 個人 | |
| 推薦の方法 | 正会員及び名誉会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を 1 部提出する（いずれも返却しない）。 | 正会員及び名誉会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を 1 部提出する（いずれも返却しない）。 | 正会員及び名誉会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を 1 部提出する（いずれも返却しない）。 | 正会員及び名誉会員の自薦、他薦または国際委員会の推薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を 1 部提出する（いずれも返却しない）。 | 正会員及び名誉会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を 1 部提出する（いずれも返却しない）。 | 正会員及び名誉会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を 1 部提出する（いずれも返却しない）。 | 正会員及び名誉会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。 | |

| | |
|---------|---|
| 選考の方法 | 学会賞選考委員会において行う |
| 賞の決定 | 理事会において行う |
| 表彰 | 農業農村工学会大会講演会において会長が授与する |
| 推薦締切 | 平成 26 年 10 月末日 |
| 推薦書の提出先 | 〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4 公益社団法人 農業農村工学会 学会賞選考委員会宛 |

平成 26 年度「戦略的研究申請支援」の助成金募集について（再）

農業農村工学分野における戦略的研究の推進を目的とし、下記取扱い内規によって、競争的研究資金獲得をめざす研究申請書作成グループに助成を行います。助成総額は、60 万円程度（原則 1 件 20 万円以内）です。

本年度の申請締切は平成 26 年 9 月 12 日（金）です。助成金を希望される方は期限までに、必要事項を記入した申請様式

（末尾参照）で研究委員会戦略的研究推進小委員会委員長宛にお申し込み下さい。

試験研究機関、行政、大学、民間等からの応募を歓迎いたします。

「戦略的研究申請支援」の助成金取扱い内規

1. 申請：学会員は所定の申請用紙に必要事項を記入の上、「研

- 究申請支援」の助成金の申請ができる。なお、申請者の資格は、後述の「4.助成対象」に示すとおりとする。
2. 認定：研究委員会戦略的研究推進小委員会は、「研究申請書作成グループ」の申請内容（申請の意義、準備の状況、将来の展望など）を検討して、助成金の配布グループと金額を決定します。なお、この決定内容は学会長に報告します。
 3. 配布：研究委員会戦略的研究推進小委員会は認定した「研究申請書作成グループ」に対し、「研究連絡費」として助成金を配布する。ただし、その配布は原則として1年とする。可否の認定に当たっては、科学研究費補助金以外の競争的資金に応募を予定しているグループを優先します。
 4. 助成対象：申請できる条件（助成対象）は次のとおりとする。
 - (イ) 具体的な研究テーマをもち、それを研究することが戦略的な意味で農業農村工学の意義と役割を対外的に示すことに貢献しうること。
 - (ロ) 「研究申請書作成グループ」には代表者（本学会

員)をおき、構成員（本学会員以外も可）は原則として3名以上、それらの所属する機関が2つ以上あること。

5. 活動報告：助成金を配布された「研究申請書作成グループ」は、助成金受領後1年以内に活動報告として、作成した申請書とその提出および審査の経過を、戦略的研究推進小委員会に提出すること。提出された活動報告は戦略的研究推進小委員会のデータベースに登録され、必要に応じて学会の研究申請支援活動に役立てられる。

「戦略的研究申請支援」の助成金申請様式

締切：平成26年9月12日（金）

申込先：戦略的研究推進小委員会委員長あて

E-mail：tkiku@jsidre.or.jp

必要記載事項：

- (1) WG名（または部会名）
- (2) 代表者名・所属
- (3) 参画者名・所属
- (4) 研究テーマ名（仮）
- (5) 研究の目的と内容（500字程度）
- (6) 研究資金申請応募先（予定）

「農業農村工学会学術基金」への募金のお願い

農業農村工学会は、農業農村工学の学術・技術の発展を通じて、わが国農業の近代化に大きく貢献できたものと自負しています。しかし、昨今の日本農業はかつてない厳しい環境におかれ、農業農村工学の役割も従来に増して一層重要なものとなり、東南アジアをはじめとして全世界的な展開が望まれる状況になっています。

そのためには、若い世代の育成、新たな技術の開発や国際交流の進展が図られなければなりません。学会は、これら諸活動に資するものとして、平成3年4月に学術基金を創設し、これに上野賞基金や富士岡研究奨励基金を統合し、さらに法人・個人有志からの拠出金等をもってこの基金に充てることとしております。

つきましては、会員各位からの多くのご支援をいただきたく、お願い申し上げます。

なお、この学術基金は今後、学生会員のインターンシップの助成にも対象を拡げる予定です。

個人会員一口 5,000円（何口でも可）

法人会員一口 50,000円（何口でも可）

送金方法 銀行振込および郵便振替でお願いいたします。

銀行：みずほ銀行新橋支店

普通預金 No.1569058

口座名 (社) 農業農村工学会学術基金

郵便振替：00140-2-54031

加入者名 農業農村工学会学術基金

学会誌掲載報文等による CPD 通信教育の参加者募集 !!

農業農村工学会では、学会員であり、かつ技術者継続教育機構のCPD個人登録者の方がCPD単位を在宅のまま取得できる方法として、平成17年10月号より農業農村工学会誌「水土の知」誌上で「CPD通信教育」を実施しています。学会員であり、かつCPD個人登録者は、どなたでも無料で参加することができ、通信教育分【ac】として年間最大24CPDを取得する大きなチャンスとなっています。この機会に、是非CPD通信教育へご参加下さい。

なお、解答内容については技術者倫理に則り、自らの責任で

送信して下さい。

1. 参加資格

農業農村工学会の個人会員であり、かつ技術者継続教育機構のCPD個人登録者

2. 出題内容と出題方法

3カ月前に発行された農業農村工学会誌に掲載された報文等の事実的内容から、択一式で毎月10問を出題

3. 解答方法

Web画面に正解と思う番号を入力し、送信（事前にWeb利

用登録が必要)

4. 解答期限

問題掲載月の月から翌月末日まで

(例：学会誌8月号掲載の問題は9月末日が解答期限)

5. 取得できる CPD 単位

10 問正解で 2 CPD を、7~9 問正解で 1.5 CPD を自動登録 (正解数 6 問以下の場合は CPD 単位の付与はされません。)

6. 自動登録の時期

取得した CPD は、解答期限最終日の翌月初旬に自動登録されます。

平成 27 年の学会誌表紙写真の募集

学会誌企画・編集委員会では、平成 27 年発行の学会誌も引き続き皆さまからの写真で表紙を飾ることとします。趣旨をご覧のうえ、ご応募下さい。

趣 旨

わが国において、土や水を取り扱う技術の歴史は農業とともに発展してきました。農業の発展の過程で造られてきた幾多の農業施設は、農地を形成し、水を送り、物と人をつなぎ、連綿と我々の生活を支えてきました。これらの農業施設のいくつかは、長年の風雨にさらされながらも、機能を保ち続け、その地域の自然や文化に溶け込み、農村の景観を形成する重要な構成要素となっているものもあります。地域の人の悲願をかなえ続けてきたこれらの農業施設や構造物は、地域の人々によって大切に守り、管理された結果、四季折々に機能美と景観美を放ち続けているはずで

す。農業農村の現場で活躍される皆さま、日ごろ何気なく見過ごしているかもしれない農村地域における農業施設・構造物とそれを含み景観の美しさを再評価いただき、忙しい業務の合間にも、足を止め、手を休めて写真として記録していただき、広く一般の方々にご紹介下さい。

記

1. テーマ

「農村地域における農業施設・構造物：先人たちの技術と苦勞が垣間見える造形美」

2. 対象巻号 学会誌第 83 巻 (平成 27 年 1~12 月号)

3. 写真の種類

応募写真はデジタル、フィルムを問わず六つ切り以上四つ切り以下のサイズにプリントしたものとします。(四つ切りワイド、A4 サイズも含みます)。なお、六つ切りは 203×254 mm、四つ切りは 254×305 mm、同ワイドは 254×356 mm、A4 は 210×297 mm です。カラー、モノクロは問いません。採用となった写真についてはデジタル写真の場合に限って画像データを送っていただきます。この場合の画像データ量は一点につき 20MB 以下とし、形式は JPEG のみに限定します。

4. 枚 数

応募写真に制限はありませんが、未発表のものに限ります。

5. 締 切 夏季 平成 26 年 9 月 30 日

※応募時、過去 1 年以内に撮影したものに限り

6. 審 査 審査委員会 (編集委員と写真家) で選考

7. 結果発表

学会誌第 83 巻第 1 号で採用作品と掲載号を発表し、採用作品は平成 27 年度全国大会会場でパネル展示

8. 謝 礼

採用作品には規定の賞金 (1 点につき 3 万円) をお支払いします。また、すべての応募作品が不採用となった応募者には記念品をお送り

9. 「Cover History (表紙写真由来)」について

採用作品の応募者には学会誌掲載の「Cover History (表紙写真由来)」をご執筆いただきます。詳細は、採用決定時に応募者に直接お知らせ

10. 使用権

採用作品の使用権は (公社) 農業農村工学会に属

11. 注意点

審査は上記の趣旨を十分理解されている写真であるか、表紙写真の質として耐えうるかということを重視します。具体的には、農業施設・構造物の形状や機能が、その写真から十分に読みとれること (花などの情緒物に埋没しないこと) が採用の条件

12. 応募方法および応募先

学会ホームページより、応募票をダウンロードし、タイトル、郵便番号、住所、氏名、勤務先、電話番号、E-mail アドレス、写真のテーマ、撮影場所、撮影年月日、対象物の固有名称 (固有名詞)、対象物をめぐる歴史的背景等の説明を記入し、応募写真の裏面に貼付して

お送り下さい。なお、原則として、応募写真は返却いたしません。

〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4

公益社団法人 農業農村工学会

農業農村工学会誌企画・編集委員会「表紙写真公募」係

TEL : 03-3436-3418 FAX : 03-3435-8494

E-mail : henshu@jsidre.or.jp

「水土の知（農業農村工学会誌）」への投稿お待ちしております！

自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿も歓迎いたします。投稿の際には、農業農村工学会ホームページに掲載の「農業農村工学会誌投稿要

項」,「農業農村工学会誌原稿執筆の手引き」を熟読の上、ご投稿下さい。

学会誌 82, 83 巻の小特集のテーマ

| 小 | 特 | 集 | テ | マ | 要 旨 締 切 (A4判 1,500字以内) |
|------|------|---|---|---|------------------------------|
| 82 巻 | 9 号 | これからの“むらづくり”と“まちづくり” —グローバル時代におけるローカル・コミュニティの創造— (仮) | | | 公募終了 |
| | 10 号 | 農地の集積と大区画化が目指すもの (仮) | | | 公募なし |
| | 11 号 | 先人たちが拓いた田畑, 施設, 水遣いの今—世代をこえて引き継がれる財産 (仮) | | | 公募終了 |
| | 12 号 | 国土強靱化に資する農業水利施設の更新技術の今 (仮) | | | 公募終了 |
| 83 巻 | 1 号 | 国際的な研究協力とその波及効果 (仮) | | | 8 月 15 日 |
| | 2 号 | 農業農村工学分野における ICT 活用の現状と今後 (仮) | | | 9 月 16 日 |
| | 3 号 | 河川における環境配慮の技術 (仮) | | | 10 月 15 日 |
| | 4 号 | 次世代に求められる水利システムの姿 (仮) | | | 11 月 17 日 |

今後取り上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集しておりますので、学会誌企画・編集委員会あてにお寄せ下さい。なお、小特集テーマが仮題となっているものは、予告なく変更することがございます。

採用された原稿の分量は、刷上り 4 ページとなっておりますので、ご執筆の際には厳守いただきますよう、お願いいたします。

す。

送付先 〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4

公益社団法人 農業農村工学会

農業農村工学会誌企画・編集委員会あて

TEL : 03-3436-3418 FAX : 03-3435-8494

E-mail : henshu@jsidre.or.jp

83 巻 1 号テーマ「国際的な研究協力とその波及効果」(仮)

農業農村工学会は 2003 年に韓国, 台湾の学会とともに国際水田・水環境工学会 (PAWEES) を立ち上げました。設立から 11 年を経た現在, PAWEES の学会誌 Paddy and Water Environment のインパクトファクターは 1.0 を超え, アジア地域を中心に農業農村工学分野の研究発表および研究者間の交流・議論の場を提供しています。一方, 学会としての国際連携だけでなく, 大学や研究機関も, 各国の研究機関や国際研究機関と協力し, 世界各地の農業に関わる問題の解決に取り組む

とともに, 相手国の研究・教育体制の強化や能力向上にも貢献しています。そこで得られた実用的な研究成果は現地にフィードバックされ, 時には ODA とも連携して, 世界の農業の発展に役立っています。

そこで, 学会誌 83 巻 1 号では, 「国際的な研究協力とその波及効果」を特集します。学会, 大学, 研究機関などの国際的な連携・協力の取組みと, その成果の活用, 課題および今後の展望について, 学会員から広く報文を募集いたします。

83 巻 2 号テーマ「農業農村工学分野における ICT 活用の現状と今後」(仮)

ICT (Information and Communication Technology) とは, 情報処理と情報通信に関連する技術の総称です。総務省は平成 25 年 7 月に ICT 成長戦略を公表し, ICT による農業における新たな高付加価値産業の創出や社会的課題の解決を目指しています。さらに内閣府は, 平成 26 年 5 月の戦略的イノベーション創造プログラムにおいて次世代農林水産業創造技術の研究開発計画を公表し, ICT による「スマート農業」の社会実装を目標に掲げています。これまでの農業農村工学分野における ICT は, ダムや農業用水利施設から末端の圃場までの計画・設

計, 施工, および運用・維持管理の各段階において, さまざまな数値解析や監視・制御の手法などと組み合わせられ, 現場に普及されてきました。今後, 上記の新たな ICT 戦略 (政策) を推進するためには, 既往の技術を維持または発展し, 新技術の導入を図っていくことが期待されます。

そこで本小特集では, 農業農村工学分野における ICT の活用に関して, これまでの取組みと今後の展望や課題について, 学会員から広く報文を募集いたします。

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」購読のお願い

国際水田・水環境工学会 (International Society of Paddy and Water Environment Engineering : PAWEES) では、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を発行しています。

本ジャーナルは、インパクトファクターが1.025と高く、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関わる研究論文、技術論文が多数掲載されていますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。

掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑 (水配分管理, 水収支, 灌漑施設, 栽培管理)
- ② 排水 (排水管理, 排水施設)
- ③ 土壌保全 (土壌改良, 土壌物理)
- ④ 水資源保全 (水源開発, 水文)
- ⑤ 水田の多面的機能 (洪水調節, 地下水涵養など)

- ⑥ 生態系の保全 (水生, 陸生動植物の生態系)
- ⑦ 地域計画 (農村計画, 土地利用計画など)
- ⑧ バイオ環境システム (水田農業と水環境, 土壌環境, 気象環境)
- ⑨ 水田の多目的利用 (田畑転換, 施設園芸)
- ⑩ 農業政策 (農村振興, 条件不利地の支援策など)

出版社 : Springer-Japan 社

発行スケジュール : 年 4 回

購読料 : 正会員・名誉会員 12,343 円

学生会員 (院生含む) 8,743 円

非会員の方は購読できません。購読を希望される方は、まず農業農村工学会にご入会の上、お申し込み下さい。

申込先 : 農業農村工学会編集出版部 中村あて

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと
2012年1月から2014年12月までの編集事務局 (投稿先) のお知らせ

国際水田・水環境工学会 (International Society of Paddy and Water Environment Engineering) の機関誌、国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」は、2014年7月に Vol.12, No.3 が発行されました。

本ジャーナルは 2009年12月より、トムソン・ロイター社の SCIE (Science Citation Index Expanded) に収録されています。わが国においても学術誌の評価に、SCIE の IF (Impact Factor) が利用されており、本国際ジャーナルは IF=1.025 と高い評価を得ております。

また、世界 14 カ国から Editor (23 名) を選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名な Springer 社からの刊行です。掲載論文は、Review, Article, Technical Report および Short Communication の 4 種類です。

投稿から掲載までの時間を短縮するとともに、年 4 回の発行としております。投稿者は農業農村工学会員で PWE 誌の購読者に限りませんが、投稿料、掲載料などを無料として投稿者の負担を軽くするように配慮されています。

2012年1月から2014年12月までの編集事務局は日本です。
投稿先 : オンライン投稿 (<http://pawe.edmgr.com/>) をご利用下さい。

編集事務局 : Dr. Yoshiyuki SHINOGI

The Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental Sciences, Kyushu University.
6-10-1 Hakozaki Higashi-Ku, Fukuoka-shi, 812-8581 Fukuoka, Japan

TEL : +81-92-642-2909 FAX : +81-92-642-2914

E-mail : yshinogi@bpes.kyushu-u.ac.jp

編集方針 : 水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としている。

その分野は、水田農業地帯における灌漑と排水、土壌保全、土地資源や水資源の保全と管理、水田の多面的機能、農業政策、地域計画、バイオ環境システム、生態系の保全、水田保全、田畑転換等である。

編集体制

・ Editor-in-Chief : Dr. Masaru MIZOGUCHI (Japan)

Department of Global Agricultural Sciences, University of Tokyo, Tokyo, Japan

・ Editors 14 カ国から 23 名

・ Editing Board 26 名

・ Chief Management Editors

Dr. Yoshiyuki SHINOGI

The Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental Sciences, Kyushu University, Japan

Dr. Jin Yong CHOI

Department of Landscape Architecture and Rural System Engineering, Seoul National University, Korea

・ Managing Editors

Dr. Haruhiko HORINO

Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University, Japan

Dr. Kazunari FUKUMURA

Department of Agricultural Environmental Engineering,
Utsunomiya University, Japan

Dr. Yu-Pin LIN

Department of Bioenvironmental Systems Engineering,
National Taiwan University, Rep. of China

Dr. Ming-Daw SU

Department of Bioenvironmental Systems Engineering,

National Taiwan University, Rep. of China

出版社：Springer-Japan 社

投稿資格：筆者が農業農村工学会員で PWE 誌の購読者である
こと。

投稿要領等：http://pawe.edmgr.com/に詳細を記載してい
ます。

第 63 回北海道支部研究発表会の開催について

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



1. 日時 平成 26 年 10 月 29 日 (水) 9:30~
2. 会場 札幌市・札幌エルプラザ ホール
(札幌市北区北 8 条西 3 丁目・JR 札幌駅北口より
徒歩 5 分)

3. 研究発表申込み

発表を希望する方は投稿原稿に先立ち、発表表題・発表者名
と発表形式の希望(口頭またはポスター)を E-mail, FAX ま
たは郵送にてお申し込み下さい。

発表申込みの締切は平成 26 年 8 月 29 日 (金) です。

発表申込者には折り返し講演集原稿作成要領をお送りしま
す。

講演集原稿の締切は平成 26 年 9 月 30 日 (火) です。

4. 参加申込み

下記様式により、E-mail, FAX または郵送にてお申し込み
下さい。

参加申込締切は平成 26 年 10 月 17 日 (金) です。

5. 発表・参加申込先

〒060-8589 北海道大学大学院農学研究院内
農業農村工学会北海道支部事務局

【申込様式】

所属機関

同上所在地

申込代表者

TEL

| 氏名 | 所属 | 備考 |
|----|----|----|
| | | |
| | | |

担当：柏木淳一 E-mail：kashi@env.agr.hokudai.ac.jp

TEL：011-706-3641 FAX：011-706-2494

6. 参加費用

研究発表会講演集代 2,000 円 (当日会場にて申し受けます。)

7. その他

プログラム詳細は北海道支部ホームページをご覧ください (9
月中旬頃掲載予定)。

北海道支部ホームページ：

http://www.agr.hokudai.ac.jp/nougyoudoboku/hokkaido-
shibu/TOP.html

平成 26 年度東北支部総会・第 57 回東北支部研究発表会ならびに 第 47 回東北支部研修会・第 37 回地方講習会の開催について (第 3 報)

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



1. 期日 平成 26 年 10 月 30 日 (木), 31 日 (金)
2. 会場 ハーネル仙台
〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-12-7
TEL：022-222-1121 FAX：022-222-1126
【会場までのアクセス方法】
JR 仙台駅から徒歩 約 15 分
JR 仙石線あおば通駅から徒歩 約 7 分
市営地下鉄広瀬通駅から徒歩 約 3 分
市営地下鉄勾当台公園駅から徒歩 約 5 分
※無料駐車場はございませんので、公共交通機関
をご利用下さい。

3. プログラム

〈第 1 日目〉10 月 30 日 (木)

- (1) 総会・研究発表会

9:00~9:30 受付

9:30~10:15 支部総会

10:15~10:45 支部賞授賞式

10:45~11:00 休憩

11:00~12:00 特別講演

「放射能に関する基礎的知識及び現場での取扱い方法に
ついて (仮)」

東北大学大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻
教授 石井慶造

12:00~13:00 昼食・休憩

13:00~17:00 第 57 回支部研究発表会

(4 会場を予定)

- (2) 情報交換会

18:00~20:00 [会場：ハーネル仙台]

〈第2日目〉10月31日(金)

(3) 支部研修会・地方講習会

9:00～9:30 受付

9:30～12:00 第47回支部研修会

①基調講演

「東日本大震災に関連したテーマの講演」

※講演者については調整中です。決定次第、7.の東北支部ホームページでお知らせします。

②事例報告

東北農政局、岩手県、福島県および宮城県から復旧・復興の状況を報告。

12:00～13:00 昼食・休憩

13:00～15:30 第37回地方講習会

①「国土強靱化について(仮)」

②「インフラの長寿命化について(仮)」

※テーマについて変更になる場合があります。

4. 支部大会参加申込方法

平成26年度の全体的な運営については宮城県が担当しますが、研究発表の受付、プログラム編集は宮城大学が担当します。支部大会の参加申込みは下記によりお申し込み下さい。

(1) 参加申込み

「平成26年度農業農村工学会東北支部総会・研究発表会・研修会・地方講習会参加申込書」に必要事項を記入し、所属機関ごとに取りまとめのうえ、E-mailにてお申し込み下さい。その際、メールの件名は「東北支部大会参加申込み」として下さい。申込様式は7.の東北支部ホームページよりダウンロードできます。

【申込様式】

平成26年度農業農村工学会東北支部総会・研究発表会・研修会・地方講習会参加申込書

所属機関名: _____
 所在地:(〒 _____ - _____) _____
 連絡者名(ふりがな): _____
 電話番号: _____
 FAX番号: _____
 E-mailアドレス: _____

| 所属 | 氏名 | ふりがな | 会員番号 | CPD番号 | 研鑽賞対象者(今回が通算5回目) | 奨励賞対象者(35歳以下) | 【10月30日】 | | 【31日】 | | 合計(円) |
|----|----|------|------|-------|------------------|---------------|------------------------------------|-------------|----------------------------------|--|-------|
| | | | | | | | 総会・研究発表会 一般(学生会員)5,000円(2,000円) | 情報交換会5,000円 | 研修会・講習会 会員5,000円 非会員6,000円 | | |
| | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | |

(2) 参加申込み受付期間

平成26年8月18日(月)～9月19日(金)

(3) 参加費

総会・研究発表会5,000円(学生会員2,000円)

情報交換会5,000円

支部研修会・地方講習会5,000円(非会員6,000円)

(4) 参加費の納入方法

参加申込みと同時に次の銀行口座に全額前納で振込みをお願いします。振込手数料については、振込人負担でお願いします。

【振込先】

銀行名: 七十七銀行 県庁支店

店番号: 206

口座番号: 普通口座 5540038

口座名: 農業農村工学会 東北支部大会事務局 会計
柳沢弘子

(ノウギョウノウソンコウガツカイ トウホク
シブタイカイジムキョク カイケイ ヤナギ
サワヒロコ)

【留意事項】

振込元が申込書と照合できるように、所属・氏名等を必ず記入して下さい。

なお、納入された参加費については、参加の有無にかかわらず返金いたしませんのでご了承下さい。

(5) 参加申込み・問合せ先

農業農村工学会東北支部事務局

宮城県農林水産部農村振興課 岩佐、尾形、柳沢

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1

TEL: 022-211-2865 (直通)

E-mail: nosonshing@pref.miyagi.jp

5. 研究発表申込み

研究発表申込みをされる方は、上記4.の参加申込みを別途行い、必ず参加費を納入して下さい。

なお、口頭発表者は、本学会会員に限ります。

(1) 研究発表申込み・問合せ先

〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立2-2-1

宮城大学食産業学部環境システム学科

神宮字または千葉まで

TEL: 022-245-2211 (代)

E-mail: jinguji@myu.ac.jp

(2) 要領

研究発表要旨集原稿に投稿票を添えて、上記(1)の申込先にお申し込み下さい。

研究発表要旨集原稿の書き方については、東北支部ホームページの講演原稿の書き方を参照して下さい。

また投稿票ファイルは、7.の東北支部ホームページからダウンロードして下さい。

(3) 発表方法

発表時間は15分以内(発表12分、質疑3分)とします。また、発表の補助機材として、パソコン(OS: Windows, ソフト: MS-PowerPoint 2010)とプロジェクターを用意します。

(4) 研究発表申込み受付期間

- 平成26年8月4日(月)～9月5日(金)【締切厳守】
- (5) 研鑽賞および奨励賞について
- 支部研究発表会および東北支部管内における農業農村工学会大会講演会において、多年にわたり積極的に研究成果を発表した会員に授与する研鑽賞の対象と思われる方は、投稿票に発表年度・講演題目を記入して下さい。また、支部研究発表会において、優れた研究成果を発表し、将来の活躍が期待される若手会員に授与する奨励賞の対象者(前年度の3月31日現在で35歳以下)の方は、投稿票に生年月日を記入して下さい。

なお、研鑽賞および奨励賞の受賞資格の詳細については、東北支部ホームページに掲載している農業農村工学会東北支部賞授賞規則をご確認下さい。

6. 宿泊および昼食について

宿泊についての斡旋は行いませんので、ご了承下さい。
昼食については、会場内のレストラン等をご利用下さい。

7. ホームページ

農業農村工学会東北支部ホームページ
<http://www.jsidre.or.jp/shibu/tohoku/>

第69回中国四国支部講演会ならびに第38回地方講習会の開催について(第2報)

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



1. 日程

(1) 支部講演会

日時：平成26年11月5日(水) 10:00～17:00
会場：とりぎん文化会館
〒680-0017 鳥取市尚徳町101-5
TEL：0857-21-8700 FAX：0857-21-8705
<http://torikenmin.japro.jp/>

プログラム：

受付開始 9:30～
開会式 10:00～10:15(小ホール)
支部表彰式 10:15～10:25(ク)
特別講演 10:40～12:00(ク)
<昼食 12:00～13:00>
一般講演 13:00～17:00
第1会場 小ホール
第2会場 第1会議室
第3会場 第2会議室

(2) 情報交換会

日時：平成26年11月5日(水) 18:00～20:00
会場：鳥取市内を予定

(3) 地方講習会

日時：平成26年11月6日(木) 9:00～12:00
会場：とりぎん文化会館 小ホール
プログラム：

受付開始 8:30～
講習会 9:00～11:40
閉会式 11:45～12:00

2. 講演申込み

(1) 投稿・講演要領

1) 講演原稿

講演原稿は、図、表、写真などを含めて1課題3ページ以内とします。

投稿者は、農業農村工学会ホームページの支部のページ(<http://www.jsidre.or.jp/shibu/>)に掲載し

てある講演原稿の書き方によって原稿を作成し、原稿をPDFにしたファイルと投稿票(前記支部のページからダウンロードできます)をメールにより下記(3)の投稿申込窓口までお送り下さい。その際、メールの件名は「中国四国支部講演会投稿」として下さい。受領確認はメールでの返信で行います。

また、発表時間や発表方法などについての連絡をとる場合がありますので、講演者(○印)の方は必ず連絡先メールアドレスをお書き下さい。

2) 講演資格

発表者のうち、少なくとも1名が学会員であることが必要です。

3) 講演方法

個人発表とし、講演補助としてプロジェクター、パソコン、PowerPointを準備します。

4) 講演時間

1課題につき15分程度です。

5) 講演要旨集

申込みのあったすべての原稿を講演要旨集に収録します。なお、印刷はモノクロとなります。

6) 参加申込み

講演者は、講演申込みとは別に参加申込みも行い、参加費をお支払い下さい。

7) 原稿の締切

平成26年9月12日(金)必着でお願いします。

(2) 優秀賞・研鑽賞・奨励賞の表彰条件

優秀賞・研鑽賞・奨励賞の受賞対象者については、学会ホームページの支部のページ(<http://www.jsidre.or.jp/shibu/>)に掲載しておりますので、事前にご確認下さい。

(3) 投稿申込窓口

鳥取大学農学部生物資源環境学科 兵頭正浩
〒680-8553 鳥取市湖山町南4-101
TEL & FAX：0857-31-5912

E-mail : hyodo@muses.tottori-u.ac.jp

3. 参加申込み

(1) 参加申込書

参加申込みについては、以下の申込様式に従い、所属機関ごとにまとめてメールにより下記(5)までお送り下さい。その際、メールの件名は「中国四国支部講演会参加申込み」として下さい。なお、様式は学会ホームページの支部のページ (<http://www.jsidre.or.jp/shibu/>) からダウンロードできます。

【申込様式】

第 69 回 農業農村工学会中国四国支部講演会ならびに
第 38 回 地方講習会参加申込書

所属機関名： _____
所在地：(〒 _____ - _____) _____
連絡者名(ふりがな)： _____
電話番号： _____
FAX 番号： _____
E-mail アドレス： _____

| 所属 | 氏名 | ふりがな | 講演希望 | 【11月5日】 | | | 【6日】 | 合計 (円) | 備考 |
|----|----|------|------|--|--------------------------------------|---|---|-----------|----|
| | | | | 講演会参加費 一般： 2,000円 学生： 1,000円 | 昼食 一般： 1,000円 学生： 1,000円 | 情報交換会 一般： 5,000円 学生： 5,000円 | 地方講習会 一般： 2,000円 学生： 1,000円 | | |
| | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | |

注1) 参加または昼食申込みの場合は○印、不参加または昼食不要の場合は×印をご記入下さい。

注2) 講演者は講演希望欄に◎をご記入下さい。

注3) 11月5日の講演会の昼食は、当日受付で配布する「弁当引換券」によりお渡します。

(2) 申込締切日 平成 26 年 9 月 12 日 (金)

(3) 参加費等

講演会参加費【一般：2,000円、学生：1,000円】

※講演者をはじめ、講演会に参加される方はお支払い下さい。

昼 食 代【一般：1,000円、学生：1,000円】

情報交換会【一般：5,000円、学生：5,000円】

地方講習会【一般：2,000円、学生：1,000円】

(4) 参加費等の納入方法

原則として、参加申込みに併せて次の銀行口座に全額前納でお振込みをお願いします。振込手数料については、振込人負担をお願いします。

また、振込み元がわかるように、所属・氏名等は必ずご記入下さい。

なお、振込み後の参加費等の返金については、原則応じられませんのでご注意下さい。

【振込口座】

銀行名：山陰合同銀行 湖山出張所

店番号：108

口座番号：3751887

名義人：農業農村工学会中国四国支部鳥取県実行委員会 委員長 猪迫耕二

(ノウギョウノウソンコウガッカイチュウゴクシコクシブトトリケンジッコウイインカイ イインチョウ イノサコウジ)

(5) 問合せ先、参加申込窓口

鳥取県農林水産部農地・水保全課 秋草・足立・田村
〒680-8570 鳥取市東町1-220

TEL：0857-26-7334・7336 FAX：0857-26-8191

E-mail：nouchi-mizu@pref.tottori.jp

(6) 宿泊案内

宿泊の斡旋・手配等はいりませんので、各自でのご対応をお願いいたします。

平成 26 年度九州沖縄支部大会 (第 95 回講演会・シンポジウム・現地見学会)
の開催について (第 2 報)

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



1. 日 時

平成 26 年 10 月 29 日 (水)

9：30～17：00 支部大会開会式・支部賞授賞式・講演会

平成 26 年 10 月 30 日 (木)

9：00～16：35 シンポジウム・講演会 (午前)

現地見学会 (午後)

2. 会場 (講演会・シンポジウム)

グランデはがくれ

<http://kourituyasuragi.jp/hotels/45saga/index.html>

〒840-0815 佐賀市天神 2-1-36 TEL：0952-25-2212

【所要時間】JR 佐賀駅から徒歩 10 分

3. プログラム

(1) 10 月 29 日 (水) 支部大会開会式・支部賞授賞式・講演

会

① 9：00～9：30 受付

② 9：30～10：00 開会式 (ハーモニーホール AB)

③ 10：00～10：20 支部賞授賞式 (ハーモニーホール AB)

10：20～10：30 (休憩)

④ 10：30～17：00 講演会【オーラルセッション (一般研究課題)】

第 1 会場 ハーモニーホール AB

第 2 会場 フラワーホール A

第 3 会場 フラワーホール BC

⑤ 12：00～16：00 ポスターセッション

(シンフォニーホール A)

- ⑥ 16:30~17:00 ポスター賞授賞式
(シンフォニーホール A)

- (2) 10月30日(木) 9:00~11:30
シンポジウム「九州・沖縄の農政改革に向けた農業農村整備の課題と展望」(第2会場 フラワーホール A)
- (3) 10月30日(木) 9:00~11:30
講演会【オーラルセッション(先進的・萌芽的研究課題)】
(第3会場 フラワーホール BC)
- (4) 10月30日(木) 現地見学会
集合時間:12:30
集合場所:グランデはがくれ 玄関
予定コース:グランデはがくれ(12:30発)→(13:15着)北山ダム(13:45発)→(14:00着)富士大和森林組合施設(14:30発)→(15:00着)休憩:そよかぜ館(15:20発)→(15:50着)クリーク現場:佐賀市兵庫(16:20発)→(16:35着)佐賀駅:解散
※現場状況等により、見学地が変わることがあります。

4. 参加費

| | 講演会 | | シンポジウム | 現地見学会 | |
|------|--------|----------------|--------|--------|--------|
| | 参加費 | 昼食費 (29日のみ) | 参加費 | 参加費 | 昼食費 |
| 一般料金 | 6,000円 | 1,000円 | 無料 | 3,000円 | 1,000円 |
| 学生料金 | 3,000円 | 1,000円 | 無料 | 2,000円 | 1,000円 |

5. 講演会(オーラル・ポスター)の申込み・発表方法

平成26年度支部大会の全体的な運営については大会事務局(佐賀県)が担当しますが、講演会の申込受付とプログラム編集については支部事務局(琉球大学)が担当します。講演会には下記によりお申し込み下さい。また、本年度の講演会のオーラルセッションは一般研究課題と先進的・萌芽的研究課題に分類して実施されますが、それぞれの申込方法は統一されていません。なお、学生会員(学部生・研究生・大学院修士)はポスターセッションに申し込むことが確認されています。対象となる学生会員はオーラルセッションではなく、ポスターセッションにお申し込み下さい。

- (1) 投稿締切
平成26年8月31日(日) 厳守
- (2) 投稿先
E-mail: zhunai@agr.u-ryukyu.ac.jp
琉球大学農学部 仲村 将 TEL: 098-895-8780
- (3) 投稿方法
「講演要旨(PDF形式)」と「講演会投稿票(MS-Excel形式)」の各ファイルを電子メールに添付してご投稿下さい。電子メールの件名を「2014九州沖縄支部大会」として下さい。講演要旨と講演会投稿票の作成には、下記8.に示したURLからファイルをダウンロードしてご利用下さい。なお、オーラルセッションでの発表については、「一般研究課題」と「先進的・萌芽的研究課題」のどちら

を希望するかを投稿票にてお示し下さい。

- (4) 講演要旨・講演会投稿票の書き方
「講演会投稿票・講演要旨の書き方および電子投稿要領」を下記8.に示したURLからダウンロードしてご参照下さい。なお、過去15年以内に価値ある業績等を通算3回以上口頭発表した会員に授与する研鑽賞は自己申告制ですので、受賞対象になると思われる方は講演会投稿票に発表年度・講演題目を記入して下さい。
- (5) オーラルセッションの発表方法
1 課題当たりの発表時間は質問・交代時間を含めて10~15分程度を予定していますが、先進的・萌芽的研究課題につきましては、その課題数に応じて発表時間を調整させていただきます。なお、補助機材としてパソコン(OS: Windows, ソフト: MS-PowerPoint2010)とプロジェクターを大会事務局で用意します。OHP・スライド用機材を用意することができませんのでご了承下さい。
- (6) ポスターセッションの発表方法

原則として学生会員(学部生・研究生・大学院修士)を対象に募集します。ポスター発表は、研究の背景や成果および将来への展望などを発表者と参加者が1対1の差し向かいで討議できるという特徴を備えています。また、発表者の中からポスター賞を若干名に授与します。事前のポスター送付は不要です。

- 1) 用紙および枚数
1 課題当たり A0 版 1 枚以内
- 2) ポスターの掲示
10月29日(水) 12:00 までに本人の責任で掲示用パネルの所定の位置にポスターを掲示して下さい。掲示用パネルのサイズは2.4m(高さ)×1.8m(幅)となる予定です。

6. 支部大会参加申込方法

- (1) 参加申込み
参加申込書により所属ごとに取りまとめ、メールあるいはFAXで下記7.の運営事務局へお申し込み下さい。なお、講演会での発表希望者についても、参加申込みが必要です。参加申込書(MS-Excel形式)の作成には、下記8.に示したURLからファイルをダウンロードしてご利用下さい。
- (2) 申込期限
平成26年8月29日(金)
なお、会場の都合により定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込み下さい。
- (3) 参加費の納入
銀行振込か当日支払いとなります。どちらで納入するか、参加申込書へご記入願います。
10月初旬以降に、請求書を送付いたします。指定期日までにお振込みいただくか、当日会場にてお支払い下さい

い。

なお、振込後の参加費等の返還には応じられませんので、ご注意下さい。

(4) 宿泊について

開催事務局では宿泊の斡旋・手配を行いませんので、ご了承下さい。

7. 問合せ・参加申込先

農業農村工学会九州沖縄支部大会事務局

(佐賀県県土づくり本部農山漁村課内)

担当 ^{そえじま} 副島, 江口

〒840-8570 佐賀市城内 1-1-59

TEL : 0952-25-7124 (直通) FAX : 0952-25-7284

E-mail : nousangyoson@pref.saga.lg.jp

8. URL

農業農村工学会ホームページの支部のページ:

<http://www.jsidre.or.jp/shibu/>

第 17 回 (2015 年) 「日本水大賞」の募集について

1. 目的

日本水大賞は、21 世紀の日本のみならず地球全体を視野に入れて、水循環の健全化を目指し、美しい水が紡ぎ出す自然の豊かさの中にも水災害に対して強靱な国土と社会の実現に寄与することを目的としています。

2. 対象範囲

(1) 対象となる活動分野

水循環系の健全化や水災害に対する安全性の向上に寄与すると考えられる活動で、水防災、水資源、水環境、水文化、復興支援のような分野における諸活動(研究、技術開発を含む)を対象とします。

(2) 対象となる活動主体

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、学校、企業、団体、個人、行政の方々が実施する諸活動を対象とします。なお、個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問いません。

3. 日本水大賞の内容

対象となる活動の中から、優れたものに対して以下の賞を授与し、広く公表します。なお、副賞は受賞活動をさらに継続していただくよう授与しています。

①大賞【グランプリ】(賞状・副賞 200 万円)

②大臣賞(賞状・副賞 50 万円)

【国土交通大臣賞】【環境大臣賞】【厚生労働大臣賞】

【農林水産大臣賞】【文部科学大臣賞】【経済産業大臣賞】ほか

4. 選定の方法等

日本水大賞委員会の下に、上記の賞を選考するために各々の審査部会を設置し、表彰対象となる活動を審査し、最終的には日本水大賞委員会が決定します。

5. 募集期間

平成 26 年 7 月 7 日(月)～10 月 31 日(金)(郵送の場合

は当日消印有効)

6. 応募方法

応募用紙(3 枚:ホームページからダウンロードして下さい)に必要な事項をご記入の上、応募用紙および添付資料を事務局あてに送付または持参して下さい。応募用紙および添付資料が電子データの場合は、E-mail でも応募を受け付けます。

応募方法の詳細はホームページを参照して下さい。

7. 審査結果の公表

審査の結果は、平成 27 年 3 月に公益社団法人日本河川協会のホームページおよび新聞紙上にて公表する予定です。入賞者には個別にご連絡いたします。

8. 主催等

(1) 主催 日本水大賞委員会

名誉総裁 秋篠宮文仁親王殿下

委員長 毛利 衛(日本科学未来館館長)

国土交通省

(2) 後援 環境省、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、公益社団法人農業農村工学会ほか 33 団体

(3) 協賛 「川の日」実行委員会ほか 5 団体

9. 送付先・問合せ先

【日本水大賞委員会事務局】

公益社団法人 日本河川協会

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-6-5 麹町 E.C.K ビル 3 階

☎ 03-3238-9771 FAX 03-3288-2426

E-mail : taisyo@japanriver.or.jp

担当: 小野, 佐藤(平日 9:15~17:30)

ホームページ: <http://www.japanriver.or.jp/taisyo/>

<「日本水大賞」は、(公財)河川財団の河川整備基金の助成を受けて実施しています>